

学校だより

戸塚小学校に関わってくださる皆様と共に

副校長

梅雨入りを前に、木々の緑がいっそう深まってきました。4月に港南区の小坪小学校から異動してまいりました副校長の難波将城と申します。創立153年と歴史ある戸塚小学校に勤務することができてうれしく思います。自分が戸塚小学校に着任することが決まってから最も気になっていたことは、校舎の建て替え工事に伴う児童の学習活動への影響についてです。その中でも特に、屋外で運動する場所や機会の確保は、戸塚小学校のように校舎の建て替えや校庭の再整備を行う学校にとっては、必ず直面する大きな問題です。

戸塚小学校では、令和6年度から中外製薬(株)さんのご厚意で、平日の日中の時間帯にグラウンドを利用させていただいています。自分も何度か引率として児童と一緒にグラウンドまで行きましたが、行くたびにその広さと充実した設備に圧倒されます。最大で5~6クラスが同時に活動している様子は、まさに圧巻の一言です(学校の校庭では決して見られない光景です)。授業に必要なハードルやボール等の用具については、倉庫の一部をお借りして常に置かせていただいています。また、10月の体育演技発表会は、昨年度までは平日に開催していましたが、今年度は本来中外製薬の社員の皆さんが利用するはずの土曜日にグラウンドをお借りして、実施させていただくこととなりました。中外製薬さんの寛大さと温かい心遣いに感謝の気持ちでいっぱいです。

また、中外製薬さんのグラウンドへの移動の際には、多くの保護者の皆様にボランティアとして児童の見守りを行っていただいています。子どもたちの足で片道15分以上かかる道のりですので、保護者の皆様のご協力なしにはこの活動は成り立ちません。

子どもたちの心身の健全な育成のためには、運動は欠かせません。校舎の建て替えという難局において、学校も体育のカリキュラムの再編成や中休みの体育館開放による自由遊び、学校保健委員会による省スペースでできる運動の推奨など、子どもたちが体を動かす機会や場の設定にできる限り努めています。しかしながら、学校だけではできることに限りがあり、現在のような体制をつくることはできませんでした。

こうした状況だからこそ、地域や保護者の皆様、行政、企業など子どもたちに関わる全ての皆さんの協力が不可欠であることを強く感じます。これからも教育活動の一層の充実に向けて、教職員一同で知恵や工夫を出し合いながら一丸となって取り組んでまいります。戸塚小学校に関わってくださる全ての皆様のご理解とご協力を改めてよろしくお願いいたします。

